

総合的な学習の時間（海洋教育） 単元プラン

単元名	海藻から探る能登町の海 ～海に進んで関わろうとする生徒の育成を目指して～					
ねらい	1年：「海に親しむ」 能登の漁業や製塩などを通じ、能登は海と深く関り生活してきた地域であることを知り、能登町の海に愛着や誇りを持つ生徒の育成を目指す。 2年：「海を知る・守る」 海洋環境問題について知り、海の世界保全に主体的にかかわろうとする生徒の育成を目指す 3年：「海を活用する」 水産資源の重要性や人とのかかわりを知り、それらを持続的に活用していく大切さを理解しようとする生徒を育成する。					
計画	学習活動（1年）	育成を目指す資質・能力	学習活動（2年）	育成を目指す資質・能力	学習活動（3年）	育成を目指す資質・能力
	<p>【課題の設定】 ○能登の里海とは何なのかを知り、能登の海に関心を持つ。 時数：1時間</p> <p>【情報の収集】 ○縄文時代の郷土での暮らしについて知る。（体験活動） 時数：2時間 活動場所：真脇縄文館 ○採かん体験等から、海の大切さに触れよさについての情報を収集する。 活動場所：のと海洋ふれあいセンター 時数：4時間</p> <p>【整理・分析】 ○体験活動からの学びを整理する（海のよさや活用、歴史、文化） 時数：1時間</p> <p>【まとめ・表現】 ○GTの講話や体験活動等をレポートや新聞などにまとめる。（文化祭で掲示予定） 時数：3時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・GTの話から課題を見出す。（B①） ・能登の里海について理解する。（A） ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集している。（B②） ・視点を決めて多様な情報を分析する。（B③） ・相手や目的に応じて、意図を明確にして表現する。（B④） ・異なる視点や他者の考えを受け入れ尊重する。（C③④） 	<p>【情報の収集】 ○能登の海藻の豊かさや食文化などを知り、能登の海に関心を持つ。 時数：1時間 GT：石川県水産総合センター ○海藻を採取、同定、標本づくりを通して海藻の豊かさに触れる。 時数：3時間 GT：石川県水産総合センター ○海洋ゴミの問題を知る 時数：1時間 GT：能登里海教育研究所</p> <p>【課題の設定・整理・分析】 ○収集した情報から、「海を守るために何ができるか」について考え、今後の取組の方向性を考える。 時数：1時間</p> <p>【まとめ・表現】 ○それぞれの課題についての解決策や取組のアイデアをまとめ、実践する。（例、海岸清掃、ポスター、PR活動（3年時）） 時数：7時間 【振り返り】 ○関係課、関係者からの意見を踏まえ、自分たちの活動を見直す。 時数：1時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海藻の豊かさ、食文化、海ごみ問題について理解する。（A） ・課題の解決に向けて、適切に情報を収集する（B②） ・仮説を立てて検証方法を考える。（B①） ・視点を決めて多様な情報を分析する。（B③） ・相手や目的に応じて、意図を明確にして表現する。（B④） ・異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重する。（C③④） 	<p>【課題の設定】 ○自分たちが考えた解決策、アイデアを実行するために必要なことは何かを考える。（商品開発にむけて） 時数：2時間 【情報の収集】 ○関係課や関係者と連携してアイデアを収集しまとめる。（商品開発に向けて） 時数：10時間 FC：瀬川しのぶ 和平商店（小木） 能登里海教育研究所</p> <p>【整理・分析】 ○実際に活動してみた際の成果と課題を分析する。 時数：2時間</p> <p>【まとめ・表現】 ○これまでに考えたり取り組んできたりしたことの成果と課題を明確にし、発信する。（相手意識、目的意識）（能登町海洋教育VTR） 時数：2時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・検証方法を考え、計画を立案する。（B①） ・地域の海の魅力、恩恵を知る。（A） ・課題の解決に向けて、適切に情報を収集する。（B②） ・視点を決めて多様な情報を分析する。（B③） ・相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。（B④） ・異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重する。（C③④）

※育成を目指す資質・能力の例・・・ A：知識及び技能

B：思考力、判断力、表現力等

C：学びに向かう力、人間性等

①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現

①主体性 ②自己理解 ③協働 ④他者理解 ⑤社会参画